

活動1分析表

障がい者の間伐材活用木製品作成へ参加方法を検証、プログラム化

活動1	2018年4月～2019年12月
対象課題	障がい者の間伐材活用木製品作成へ参加方法の検証、プログラム化
活動内容	飯山特産の木材を活用したログファイヤー製作、クラフト体験の材料加工、梱包作業による障がい者の作業プログラム立案、実証
活動成果	事例調査、障がい者参加による実証作業の実施により手順要領、作業治具、等から成る作業プログラムを作成
連携先	エコロジーオンライン、NPOここから、フォレストデザイン、飯山館、長野県内福祉施設
活動に対する現状の評価と課題	障がい者参加の検証の結果、作業要領の目途がたち、プログラムが作成された。今後プログラムの汎用性を高めることが課題。



地域循環共生圏への貢献	【環境への貢献】 (環境負荷の減少、資源循環への貢献、自然環境保全、脱炭素貢献、など)	【社会への貢献】 (人のつながり、地域教育、文化の向上、人口流出の抑制、QOL増大、など)	【経済への貢献】 (新規産業の育成、資金流出の防止、地域内経済循環、地域内雇用創出など)
	間伐材活用により里山保全に貢献	検証過程で間伐材利用木製品作成に障がい者が作業に積極的に参加	障がい者の自立支援に経済的に貢献する可能性が拡大



目標17
17
パートナーシップで目標を達成しよう

SDGsへの貢献 (ウェディングケーキモデルによる分類) 関係目標に印をつけ関連を線で表示	 安全な水とトイレを世界中に	 気候変動に具体的な対策を	 貧困をなくそう	 飢餓をゼロに	 すべての人に健康と福祉を	 ジェンダー平等を実現しよう	 産業と技術革新の基盤をつくろう	 人や国の不平等をなくそう
	 海の豊かさを守ろう	 陸の豊かさを守ろう	 質の高い教育をみんなに	 エネルギーをみんなに、クリーンに	 住み続けられるまちづくりを	 平和と公正をすべての人に	 つくる責任 つかう責任	 働きがいも経済成長も

活動2分析表 説明会・報告会の 開催と情報発信

活動2 2018年4月～2019年12月

対象課題	地域活動としての理解、協力の普及促進
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体、県民、行政職員、学校等を対象とした本事業の説明会と報告会を開催 ・専門家によるセミナー開催 ・本事業内容やプログラムをとりまとめて公表 ・地域住民を対象にクラフトづくりやログファイヤーの交流会を実施
活動成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地区役員説明、交流会の実施により、事業内容を関係者に広報周知 ・地域の祭りの旗竿活用等活用分野を拡大。
連携先	エコロジーオンライン、NPOここから、フォレストデザイン、飯山館、飯山市、長野県、森林組合、地区住民
活動に対する現状の評価と課題	情報発信を拡大することで関係者の理解が促進された。さらなる情報発信による活動の拡大が課題。



地域循環共生圏への貢献	【環境への貢献】 (環境負荷の減少、資源循環への貢献、自然環境保全、脱炭素貢献、など)	【社会への貢献】 (人のつながり、地域教育、文化の向上、人口流出の抑制、QOL増大、など)	【経済への貢献】 (新規産業の育成、資金流出の防止、地域内経済循環、地域内雇用創出など)
		地区住民、行政関係の理解の認知・理解の促進。地域行事への参画など地域交流や活動分野の拡大。	



SDGsへの貢献 (ウェディングケーキモデルによる分類) 関係目標に印をつけ関連を線で表示	 目標6 安全な水とトイレを世界中に	 目標13 気候変動に具体的な対策を	 目標1 貧困をなくそう	 目標2 飢餓をゼロに	 目標3 すべての人に健康と福祉を	 目標5 ジェンダー平等を実現しよう	 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 目標10 人や国の不平等をなくそう
	 目標14 海の豊かさを守ろう	 目標15 陸の豊かさを守ろう	 目標4 質の高い教育をみんなに	 目標7 エネルギーをみんなに クリーンに	 目標11 住み続けられるまちづくりを	 目標16 平和と公正をすべての人に	 目標12 つくる責任 つかう責任	 目標8 働きがいも経済成長も

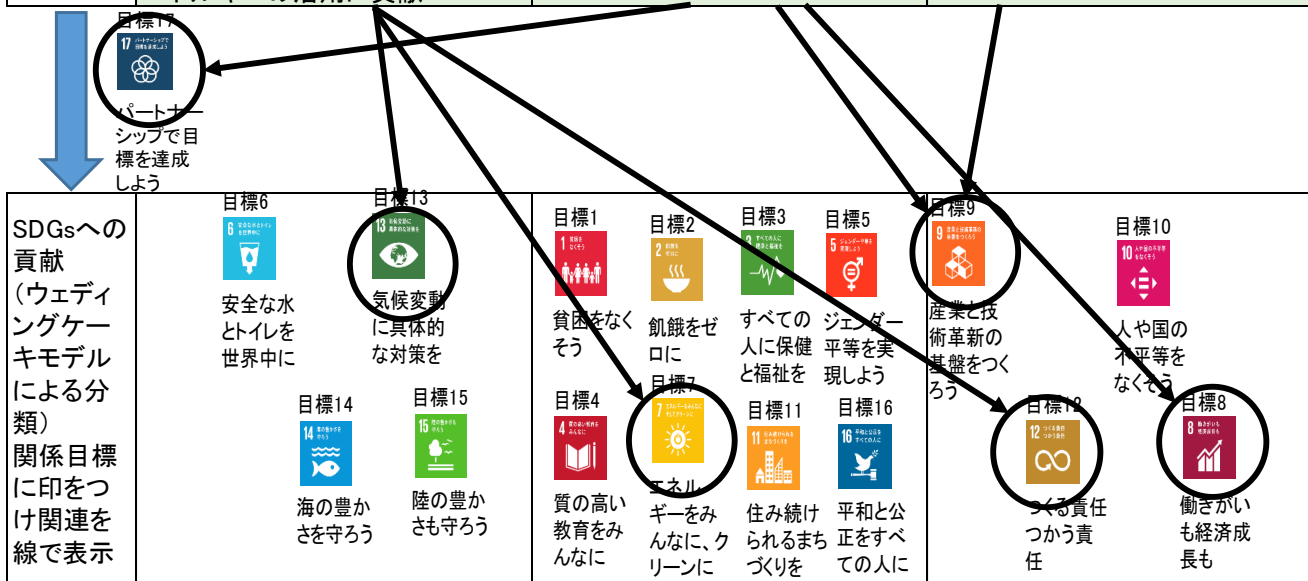
活動3分析表

本格的な製品化を検討する企画会議と運営体制の整備

活動3	2018年4月～2019年12月
対象課題	持続可能な経済活動としての製品企画と販売体制の確立
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ログファイヤーの製品化、製品の開発販売活動、パッケージデザイン等議論、継続的な体制構築を検討 ・教育・福祉施設、キャンプ場等を対象に、使用感、他製品の要望、林福連携に対する期待等をヒアリング
活動成果	<ul style="list-style-type: none"> ・燃焼試験等により、含水率等の基準・規格等の明確化。 ・ログファイヤー説明コンテンツ、PRツールを作成。
連携先	エコロジーオンライン、フォレストデザイン、飯山館
活動に対する現状の評価と課題	PRツールや製品規格など活動コアが形成されつつありPRも拡大している。運営体制が必ずしも十分でなく経営の自立が課題。



地域循環共生圏への貢献	【環境への貢献】 (環境負荷の減少、資源循環への貢献、自然環境保全、脱炭素貢献、など)	【社会への貢献】 (人のつながり、地域教育、文化の向上、人口流出の抑制、QOL増大、など)	【経済への貢献】 (新規産業の育成、資金流出の防止、地域内経済循環、地域内雇用創出など)
	ログファイヤー販売の可能性を広げることで、循環を促進、再生可能エネルギーの活用へ貢献	ログファイヤー企画販売を通じた社会参加と人的交流の促進	ログファイヤーの地元特産品としての可能性拡大



活動4分析表 ログファイヤー 製作講座の実施

活動4	2018年4月～2019年12月
対象課題	活動意義の浸透、ステークホルダーや活動担い手の拡大
活動内容	地域の林業関係者等を中心とした対象にログファイヤーの製作講座を実施。
活動成果	・地区住民等を対象に講座を実施し、参加者のターン人材や古民家建築事業者を活動担い手としてステークホルダー等に位置付け。
連携先	フォレストデザイン、地区住民、地域林業関係者、古民家建築事業者
活動に対する現状の評価と課題	林業関係者などのステークホルダー化や活動の担い手形成が進行。さらなる拡大と活動への定着が課題。



地域循環共生圏への貢献	【環境への貢献】 (環境負荷の減少、資源循環への貢献、自然環境保全、脱炭素貢献、など)	【社会への貢献】 (人のつながり、地域教育、文化の向上、人口流出の抑制、QOL増大、など)	【経済への貢献】 (新規産業の育成、資金流出の防止、地域内経済循環、地域内雇用創出など)
	古民家建築との連携による間伐材活用の可能性	ターン者や地区住民のステークホルダー化と担い手化による地域社会への参加の活性化	ターン者や地区住民のステークホルダー化と担い手化による地域経済への貢献



目標17
パートナーシップで目標を達成しよう

SDGsへの貢献 (ウェディングケーキモデルによる分類) 関係目標に印をつけ関連を線で表示	<p>目標6 安全な水とトイレを世界中に</p> <p>目標13 気候変動に具体的な対策を</p> <p>目標14 海の豊かさを守ろう</p> <p>目標15 陸の豊かさを守ろう</p>	<p>目標1 貧困をなくそう</p> <p>目標2 飢餓をゼロに</p> <p>目標7 エネルギーをみんなに</p> <p>目標4 質の高い教育をみんなに</p> <p>目標11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>目標3 すべての人に健康と福祉を</p> <p>目標5 ジェンダー平等を実現しよう</p> <p>目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>目標10 人や国の不平等をなくそう</p> <p>目標8 働きがいも経済成長も</p>	<p>目標16 平和と公正をすべての人に</p>
	<p>目標17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>目標1 貧困をなくそう</p> <p>目標2 飢餓をゼロに</p> <p>目標7 エネルギーをみんなに</p> <p>目標11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>目標12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>目標8 働きがいも経済成長も</p>